

# 三八地労連

## 第二十二回定期大会を開催

7月3日、三八教育会館で第22回定期大会を開催、代議員・傍聴者あわせて21名が参加しました。中道議長はあいさつの中で、各単組の役員が地労連役員としてもがんばっていること、ふれ、お互いの協力を訴えました。また、参議院議員選挙に関して、沖繩の声をアメリカに届けるのではなくてアメリカの声を沖繩に届けて辞任した鳩山前首相、消費税10%を打ち出した菅首相を批判し、私たちの要求を実現するための選択をと呼びかけました。谷崎県労連副議長、松橋日本共産党地区常任委員が

三八地方労働組合総連合  
発行●2010年7月15日  
・第112号●八戸市柏崎  
1-10-34 対馬治療院2階  
☎・Fax 0178-47-8886

# 三八地労連

## ニュース

来賓あいさつ、ひだまりユニオンの田中委員長と高杉さんが不当解雇撤回闘争への支援を訴えました。



議案審議では、郵産労から、非正規職員の正社員化と均等待遇を求める全国キャラバン行動を行ったことや正社員化の流れを作り出した郵産労の活動について発言しました。年金者組合から、ナショナルミニマム(生活保障や最低保障年金、最低賃金)について、関係団体・組合の協

議・相談の提案がありました。県教組からは教員免許更新制度についての発言(署名の要請)、高教組からは、臨時講師が職員の四分の一にもものぼる職場の状況や30代の先生は毎年不合格で身の振り方を考えざるを得ないこと、自立支援法廃止を公約したはずの民主党の方針転換等についての発言がありました。八医労からは、肺炎球菌ワクチン等の助成について「ある一定の前進」と評価し、インフルエンザについても市に働きかけていこうとの発言がありました。職安分会からは、就職支援関連で、自立支援法の場合二、三万円の「賃金」から8000円もの利用料を引くことは疑問、見直しをとの意見がありました。

議案採択の後、中道議長、新岡事務局長など7名の役員・2名の会計監査を選出し、議長の音頭で団結がんばろうを行い、閉会しました。

**私立高校入学金**  
**先取りはおかしい!**  
私立高校の入学金先取りをテーマに7月10日、三八教育会館で教育なんでも懇談会が行われ、18人が参加しました。これは、「公立を希望しているのに入学手続きが公立の合格発表前

なので、泣く泣く入学金を納付することになった」という保護者の声を取り上げて開かれたものです。青森県内で「先取り」を行っているのは八戸地区の私学だけであり、何とかしなければという声が強まっています。

県内で最初に入学金の先取りをやめた青森山田高校の奥村榮先生(県労連議長)が、問題をどう考えるかを提起しました。氏は、教育の無償化をめざす方向がグローバルスタンダード、私立高校も実質無償化を求めました。そして、私学助成の不十分さが私学財政の貧困をもたらすと説明しました。しかし、そうした状況を踏まえても、青森、

### 非正規社員の正社員化を! ― 郵産労全国キャラバン



郵産労全国キャラバン・百石局前

弘前地区の私立高校は2002年度までにすべて「先取り」をやめている、八戸地区の先取り継続は許容できるものではないとの考え方を示しました。

参加者からは「学校によって数千万円にも達する先取り(入学しない人からの徴収はおかしい)」、「先取りが八戸だけということを知らないから我慢している、もつと市民に知らせよう」、「会として具体的な取り組みを」、「私学教職員の低賃金・労働条件の改善もセットの取り組みに」等々、活発な意見が出されました。会としては、懇談会での意見を踏まえ、幹事会で検討して取り組んで行くことにしています。

6月18日、八戸、八戸西、十和田、三沢、百石の各局前でマイク宣伝とチラシ配布を行いました。郵産労中執委員長、東北地本2名、八戸支部3名、地労連から一人の7人でした。郵産労の取り組みで正社員化の手続き(試験)が始められています。組合の取り組みを説明し、一緒に職場改善の取り組みを訴えました。八戸局には地労連と連名で要請書を提出しました。

# 全動労争議団を勝たせる会ニユース最終号

1991年9月19日に結成された全動労争議団を勝たせる会のニユース最終号が届きました。23年にわたるJR採用差別問題の闘いが解決を迎えたのです。まさに、歴史的な勝利の感激を覚えます。

## 【会報から転載】

労働者の広い連帯で「6年間争議団と家族を支え続けて

全動労争議団を勝たせる会  
三上満 会長

「明けない夜はない」ーいまこの言葉思い起こしています。この国鉄採用差別事件は、政府と財界が結託して仕組んだ一大不当労働行為(犯罪)でした。

私たちは、政府と財界という、いわば最強・最大の敵を相手にひるむことなく、あきらめることもなく堂々とたたかひ続け、その厚い扉を押しあけ、今日の日を見るに至ったのです。この問題を「日本の労働運動再生の環」と位置づけ全力でたたかってきた全労連の存在の大きさを思わずにはいられません。「勝たせる会」も、全動労争議団と家族のくらしとたたかひを支えるために、労働者の連帯を広げながら頑張ってきました。これまで争議団と家族に届けられた支援金は、5億9千万円に

達しています。雇用問題など、全面解決への道のりは残っていますが、このたびの政治解決によつて「勝たせる会」としての役割は終えることになりました。

これまで毎月の会費を寄せられ、カンパに添えて下さった会員の皆様に、心から感謝を送らせていただきます。本当にありがとうございました。

長期のご支援に感謝  
一日も早い全面解決を

全動労争議団

団長 池田孝治



23年にわたるJR採用差別問題のたたかひが解決を迎え、たたかつて「300日」をこえる「勝たせる会」会報は最終号となりました。この間の関係者の方々のご努力に深く敬意を表します。

この到達点は、全国の会員の皆様をはじめとしたたくさんの方々からの変わらぬ励ましとご協力をいただき、共にたたかっ

## 三八母親大会

日時 7月25日(日)10:00～15:00  
会場 八戸市福祉公民館(頽家)  
講演 ワーク&ライフ・バランス  
ー仕事も家庭もエンジョイ  
講師 阿部 恵さん(八戸高专)  
分科会 10:00～12:00  
全体会・記念講演 13:00～  
※会員券は300円です。

## 平和行進にのべ230人超

三八地区の平和行進は、6月10日から12日に渡って取り組まれました。初日の参加者は164人、引継集会では、コープあおもり理事の高橋薫さんのNP T再検討会議ニユーヨーク行動の報告もありました。二日目は35人、市内(司法センター)まで、南部町(町長と懇談)、三戸町を行進、田子町でも21人で初めての平和行進を行いました。12日は五戸、新郷、三戸を行進、32人で岩手に引き継ぎました。

地労連からは、職安分会、年金者組合、青銀労組が全日程に



別館前市民広場で上十三からの引継集会ー平和行進

参加しました。八医労は医療生協と共同の取り組み、引継集会にあわせて67名の参加でした。

## 原爆と人間/写真展 証言ビデオ

ー平和記念資料館

日程 8月6日～9日  
10:00～18:30  
(9日は16:00まで)  
会場 まちの駅(さくら野隣)  
市民ギャラリーにて  
主催 八戸原水爆禁止の会

あの日あの時、広島と長崎で何が起こったのか。日本被団協の「原爆と人間」パネルをご覧ください。平和記念資料館から4人の被爆者の証言ビデオを借りることができました。青森県の方の証言もあります。

核兵器廃絶のための被爆写真展です。まちの駅にどうぞ足をお運びください。